

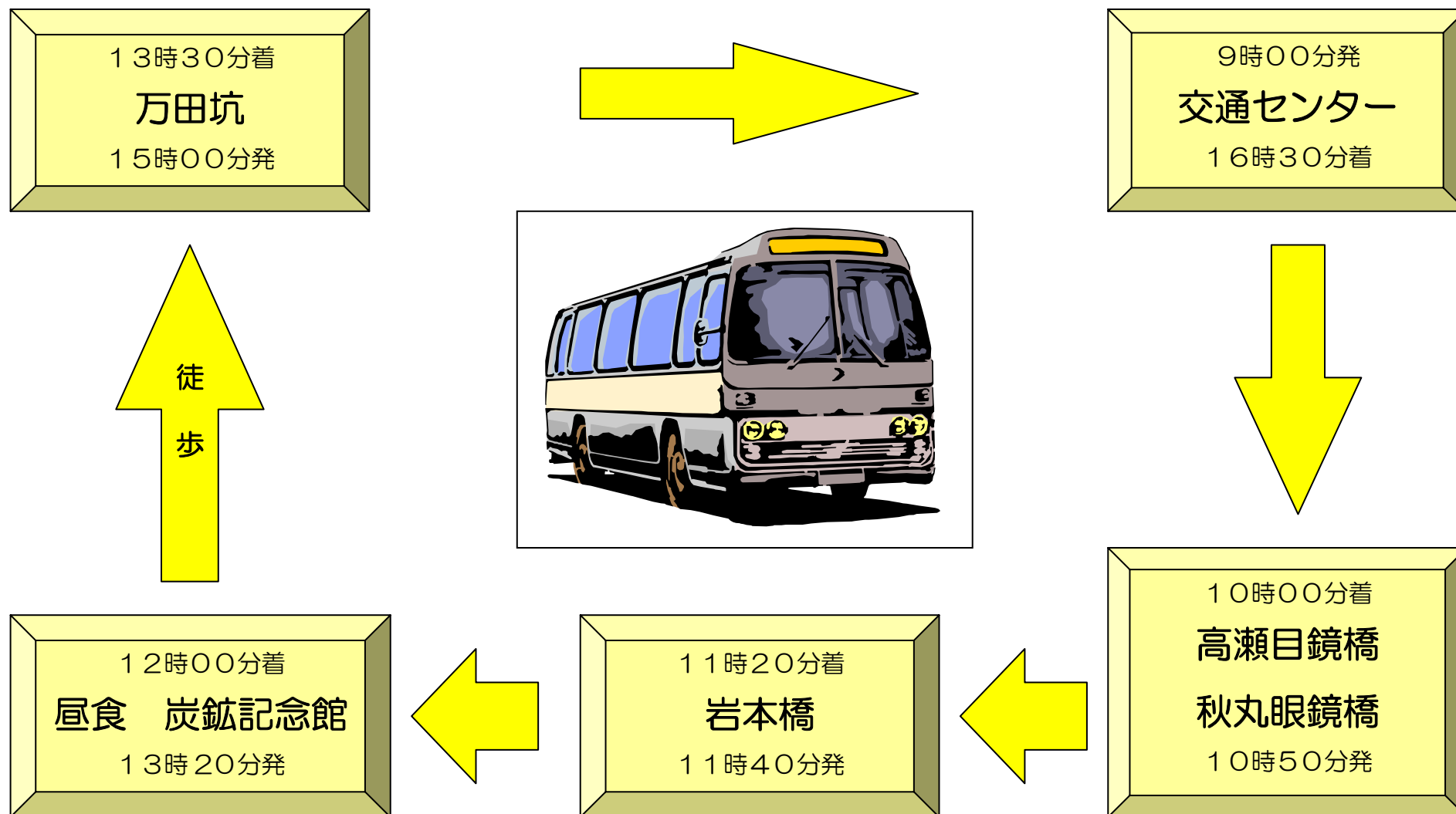
H22.11.27 (土)

～熊本大学 星野工学博士と行く～

平成22年度土木遺産探訪バスツアー

「土木の日」熊本実行委員会
(熊本市土木総務課)

行程表



○星野 工学博士プロフィール

氏 名	星野 裕司（ほしの ゆうじ）
所 属	熊本大学 工学部 社会環境工学科
学位・称号	博士(工学)・1級建築士
研 究 分 野	景観デザイン

○(近代)土木遺産とは・・・

幕末以降、西洋の近代土木技術が導入されてから第二次世界大戦以前までに造られた土木施設うち、現存しているものを言います。全国で約2,800件、九州で約500件が確認されています。

また、近代土木遺産は次のような3点で評価され、A～Cの3段階にランク分けされています。

- ・ 技術：技術が優れていること。
- ・ 意匠：デザインが優れていること。
- ・ 系譜：地域に様々な形で貢献している、あるいは地域の人達に愛されていること。

たかせ め がねばし
高瀬目鏡橋（玉名市）

県指定重要文化財（S54）

玉名市永徳寺に所在する御蔵御茶屋と熊本城とを結ぶ要衝の地であった菊池川の支流裏川にかかる橋です。

全長 15 メートル、幅員 4 メートル、スパンドレルの径 6.7 メートルの規模をもつ凝灰岩の二重橋で、嘉永元年（1848）町奉行高瀬寿平によって架けられたものです。2 つのアーチと、仲ふくらみ反りかえる路線の曲線的な美観と、学理に基づく石造技術は実に見事です。



◆土木の日◆

「土木の日」は 1987（昭和 62）年 11 月に社団法人土木学会（全国の大学の先生など土木工学の研究者で組織する団体）によって提唱されました。

土木学会の前身である「日本工学会」の創立日（明治 12 年 11 月 18 日）を記念して毎年 11 月 18 日を「土木の日」と決めました。また、11 月 18 日から 11 月 24 日までを「くらしと土木の週間」と定めて、この期間を中心に全国各地で土木に関する広報活動や社会貢献活動が展開されています。

あきまるめがねばし
秋丸眼鏡橋（玉名市）

市指定重要有形文化財（H19）

秋丸眼鏡橋は天保3年（1832）高瀬大橋より700メートル上流、菊池川本流より分かれた運河、裏川に架設されています。阿蘇溶結凝灰岩でできていて、全長11.70メートル、幅員は樋門を含み6.45メートルあります。

水流量を調整する分流板を備え、樋門、敷石等の施設を付属させた石造橋で、技術的に優秀で、県内では大変珍しい橋です。

★有形文化財★

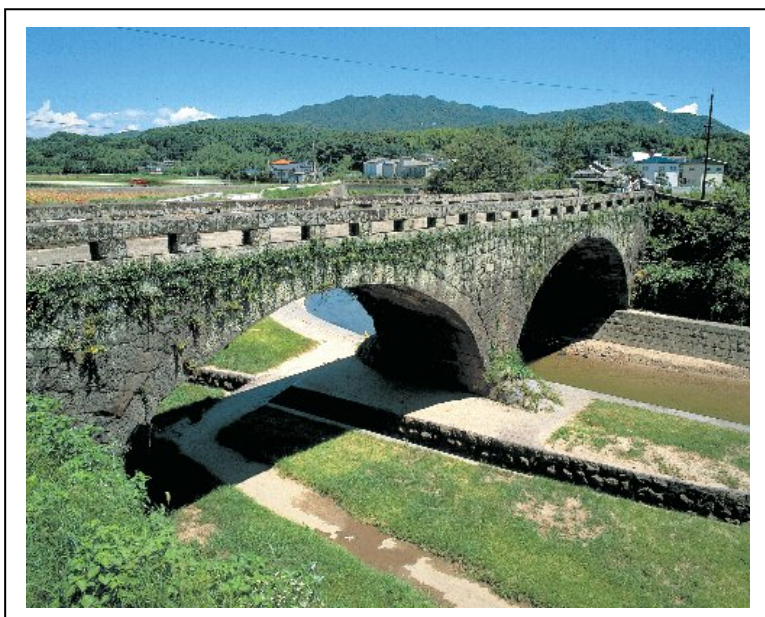
地方公共団体では、それぞれ文化財保護条例を定めて、有形文化財（重要文化財に指定されたものを除く）のうち、その地方公共団体にとって重要なものを「〇〇都道府県指定有形文化財」、「市町村指定有形文化財」などの形で指定しています。



いわもとばし 岩本橋（荒尾市）

県指定重要文化財（S40）

江戸時代の岩本番所が廃止された後、関川に架けられた石造眼鏡橋。全長 32.7 メートル・幅 3.4 メートル・高さ 7.4 メートル。阿蘇凝灰岩の切岩を二重に築いて造られており学問的にも貴重な様式といわれています。欄干に種々の装飾彫刻があり、特に西側外面の菊花紋の陽刻は有名で、皇居の二重橋をはじめ数々の名橋を建造した八代の名匠、橋本勘五郎の作と伝えられています。



まん だ こう 万 田 坑（荒尾市）

国指定重要文化財（H10）【世界遺産暫定リストに掲載（H21）】

第一立坑は、1897 年開さく着手、1902 年出炭操業を開始。捲場、櫓、揚炭、入気、排水の用途として、第二立坑は、1898 年開さく着手。1909（明治 42）年 2 月より操業を開始。捲場、櫓とも本来は排気、排水、人員の用途で使われていました。捲場建物は、切妻二階建、レンガ造で、イギリス積み。巻胴はドイツ製で安全灯室の入った建物、事務棟が現存しています。万田坑は、1951（昭和 26）年 9 月 1 日、三川坑に合併され閉坑となりました。



●世界遺産●

1972 年のユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（世界遺産条約）に基づいて、世界遺産リストに登録された遺跡や景観そして自然など、人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」をもつ不動産を指します。

※暫定リスト

世界遺産登録に先立ち、各国がユネスコ世界遺産センターに提出するリストのことです。原則として、文化遺産については、このリストに掲載されていないものを、世界遺産委員会に登録推薦することは認められていません。

× 毛
